

令和2年産畑作物共済の実績（概要）について

1 ばれいしょ

(1) 引受実績

引受戸数は5.2千戸（対前年95.7%）、引受面積は40.5千ha（対前年96.3%）、共済金額は41,494百万円（対前年98.6%）であり、面積引受率は76.7%となっている。

なお、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は5.1千戸、引受面積は40.5千ha、共済金額は41,409百万円であり、面積引受率は84.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は1.7千戸（うち北海道1.7千戸）、同面積は9.8千ha（うち北海道9.8千ha）、共済金支払額は986百万円（うち北海道981百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が32.0%。金額被害率は2.4%であり、平均共済掛金率（3.5%）と比べると低い被害率となっている。

なお、北海道の金額被害率は2.4%であり、主な被害は干害であった。

2 大豆

(1) 引受実績

引受戸数は23千戸（対前年91.1%）、引受面積は90.2千ha（対前年90.4%）であり、引受面積の上位3県は北海道（31.3千ha）、福岡県（6.7千ha）、佐賀県（6.7千ha）となっている。

また、共済金額は40,863百万円（対前年92.1%）であり、面積引受率は63.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は10.0千戸、同面積は35.9千ha、共済金は3,286百万円となった。

被害率は、戸数被害率が43.9%。金額被害率は8.0%であり、平均共済掛金率（8.6%）と比べると低い被害率となっている。

なお、金額被害率が高かったのは、長崎県（42.0%）、鹿児島県（26.0%）、福井県（25.7%）であり、主な被害は風水害、土壌湿潤害などであった。

3 小豆

(1) 引受実績

引受戸数は4.5千戸（対前年101.0%）、引受面積は18.6千ha（対前年104.4%）、共済金額は11,538百万円（対前年107.6%）であり、面積引受率は82.0%となっている。

なお、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は4.2千戸、引受面積は18.5千ha、共済金額は11,454百万円であり、面

積引受率は 83.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.6 千戸（北海道 0.5 千戸）、同面積は 2.1 千 ha（北海道 2.0 千 ha）、共済金は 233 百万円（北海道 228 百万円）となった。被害率は、戸数被害率が 13.6%。金額被害率は 2.0%であり、平均共済掛金率（7.0%）と比べると低い被害率となっている。

なお、北海道の金額被害率は 2.0%であり、主な被害は干害、雨害湿潤害、冷害、ひょう害であった。

4 いんげん

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は 1.5 千戸（対前年 102.7%）、引受面積は 6.1 千 ha（対前年 109.4%）、共済金額は 3,150 百万円（対前年 103.3%）であり、面積引受率は 89.3%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.5 千戸、同面積は 2.3 千 ha、共済金は 539 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 34.9%。金額被害率は 17.1%で平均共済掛金率（11.5%）と比べると高い被害率となっており、主な被害は干害、雨害湿潤害、風水害であった。

5 てん菜

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は 6.0 千戸（対前年 97.7%）、引受面積は 52.0 千 ha（対前年 99.4%）、共済金額は 52,299 百万円（対前年 98.4%）であり、面積引受率は 91.5%となっている。

(2) 共済金支払実績等 共済金支払対象となった戸数は 0.6 千戸、同面積は 4.3 千 ha、共済金は 292 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 9.3%。金額被害率は 0.6%で平均共済掛金率（4.3%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は干害、風害、雨害湿潤害であった。

6 さとうきび

(1) 引受実績

引受戸数は 7.5 千戸（対前年 91.7%）、引受面積は 9.5 千 ha（対前年 92.1%）、共済金額は 8,548 百万円（対前年 94.1%）であり、面積引受率は 42.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.8 千戸、同面積は 0.8 千 ha、共済金は 91 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 11.0%（鹿児島県 11.5%、沖縄県 10.6%）。金額被害率は 1.1%（沖縄県 1.3%、鹿児島県 0.8%）で平均共済掛金率（5.9%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は風水害、干害であった。

7 茶

(1) 引受実績

引受戸数は0.4千戸（対前年77.7%）、引受面積は0.3千ha（対前年73.6%）、共済金額は289百万円（対前年72.1%）であり、面積引受率は1.3%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.2千戸、同面積は0.1千ha、共済金は35百万円となった。

被害率は、戸数被害率が47.5%。金額被害率は12.1%であり、平均共済掛金率（4.3%）と比べると高い被害率となっている。

なお、金額被害率が高かったのは、宮崎県（40.0%）、奈良県（26.4%）、愛媛県（26.3%）であり、主な被害は凍霜害であった。

8 そば

(1) 引受実績

引受戸数は3.6千戸（対前年94.7%）、引受面積は18.6千ha（対前年87.3%）であり、引受面積の上位3県は北海道（13.3千ha）、福井県（1.6千ha）、山形県（1.5千ha）となっている。

また、共済金額は3,500百万円（対前年75.3%）であり、面積引受率は39.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.9千戸、同面積は3.7千ha、共済金は203百万円となった。

被害率は、戸数被害率が23.9%。金額被害率は5.8%であり、平均共済掛金率（10.7%）と比べると低い被害率となっている。

なお、金額被害率が高かったのは、山形県（13.3%）、岩手県（11.6%）であり、主な被害は雨害湿潤害、風水害、土壌湿潤害、獣害であった。

9 スイートコーン

(1) 引受実績

引受戸数は1.8千戸（対前年92.1%）、引受面積は5.4千ha（対前年91.1%）、共済金額は2,399百万円（対前年88.5%）であり、面積引受率は52.6%となっている。

なお、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は1.5千戸、引受面積は5.2千ha、共済金額は2,001百万円であり、面積引受率は64.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.3千戸（北海道0.3千戸）、同面積は0.9千ha（北海道0.8千ha）、共済金は93百万円（北海道77百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が17.7%。金額被害率は3.9%であり、平均共済掛金率（7.1%）と比べると低い被害率となっている。

なお、北海道の金額被害率は3.8%であり、主な被害は干害、雨害湿潤

害、風水害であった。

10 たまねぎ

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は 1.3 千戸（対前年 92.7%）、引受面積は 10.0 千 ha（対前年 95.6%）、共済金額は 23,032 百万円（対前年 102.4%）であり、面積引受率は 68.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 39 戸、同面積は 0.2 千 ha、共済金は 72 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 3.1%。金額被害率は 0.3%で平均共済掛金率（4.6%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は干害、雨害湿潤害、冷湿害であった。

11 かぼちゃ

(1) 引受実績

引受戸数は 1.3 千戸（対前年 89.3%）、引受面積は 3.1 千 ha（対前年 85.9%）、共済金額は 2,376 百万円（対前年 86.5%）であり、面積引受率は 41.9%となっている。

なお、北海道の引受が面積ベースで 9 割以上を占めており、引受戸数 1.3 千戸、引受面積 3.1 千 ha、共済金額 2,376 百万円であり、面積引受率は 44.0%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.3 千戸（北海道 0.3 千戸）、同面積は 0.6 千 ha（北海道 0.6 千 ha）、共済金は 100 百万円（北海道 96 百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が 21.3%。金額被害率は 4.2%で平均共済掛金率（8.9%）と比べると低い被害率となっている。

なお、北海道の金額被害率は 4.2%であり、主な被害は干害、風水害、獣害、雨害湿潤害であった。

12 ホップ

(1) 引受実績

引受戸数は 0.1 千戸（対前年 93.2%）、引受面積は 0.1 千 ha（対前年 95.0%）、共済金額は 258 百万円（対前年 99.2%）であり、面積引受率は 78.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 19 戸、同面積は 12.4ha、共済金は 6 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 17.3%。金額被害率は 2.4%であり、平均共済掛金率（3.9%）と比べると低い被害率となっている。

なお、金額被害率が高かったのは、山形県（4.9%）であり、主な被害は病害であった。

13 蚕繭

(1) 引受実績

引受戸数は 0.1 千戸（対前年 78.5%）、引受箱数は 1.2 千箱（対前年 72.6%）、共済金額は 74 百万円（対前年 74.7%）であり、引受率（箱数ベース）は 6.4%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 16 戸、同箱数は 69 箱、共済金は 1 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 13.7%。金額被害率は 1.6%であり、平均共済掛金率（1.1%）と比べると高い被害率となっている。

なお、金額被害率が高かったのは、長野県（6.0%）、山形県（4.3%）、宮城県（3.3%）であり、主な被害は冷害、病害、ひょう害、獣害であった。

【参考】用語の説明

- ・面積引受率：作付面積に対する引受面積の割合
- ・戸数被害率：引受実戸数に対する被害実戸数の割合
- ・金額被害率：共済金額に対する共済金の割合
- ・平均共済掛金率：共済金額に対する共済掛金の割合